

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	アップル工房イイダ農産事業部	事業所番号	2010500334
住 所	長野県飯田市座光寺1419-1	管理者名	今村忠弘
電話番号	0265-56-8250	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
＜活動内容＞ 活動場所 農産事業部 実施日程 令和6年8月8日（土）ハウス基本の「ホ」 令和6年8月28日（水）ハウス基本の「ン」 令和6年11月15日（金）松川ハウス「ホ」 令和7年1月15日（火）松川ハウス「ン」 マナーを守って気持ちよい職場でよい仕事をしましょう 働くための基本の「キ・ホ・ン」 利用者数 18名	＜活動の様子＞ 全員の中で話を聞くことが苦手な方に対しては個々に再度話をする。 資料にはルビをつけ、ゆっくり丁寧に分かるように説明する。その都度質問に応じる。 一人一人に感想を聞き、支援員が丁寧に応じる。 一人一人が意識して行動できるよう支援員が見本となる事は必要であり、現場ではその場その場で声掛けの必要性を感じた。 一般企業向けの社員研修を数多くおこなっている伊坪ビジネスと連携し、「新入社員向けマナー研修」の資料の1部を抜粋し、内部研修実施。 講師：窪田 頼央（職業指導員）
＜目的＞ 社会人としての基本のマナーを身に着けるために。 職場で働くためのマナーはもちろん、一般就労を目指すにあたり、社会人としての基本的マナーを身に着けることで一般企業への就労に役立つ。	
＜成果＞ 「あいさつ・返事」についてが働く為の基本の「キ」の加え、基本の「ホ」では「働く為の心構え・働く為のルール」について学び、体調に気を付けて休まず働くこと、休んだ時は相手にも迷惑をかけてしまうという意識作りができた事。 基本の「ン」では「指示について・報連相」の大切さなどを学び、働く為には何が必要か意識づけられた。今後も繰り返し学習会を設けていく方向。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
皆さん私語もなくよく聞けていました。感想の中にも何に気をつけ働らかなければいけないのか、働く意欲が感じられました。一般就労に向け今後もこの学習会を繰り返ししていくことの必要性を感じました。	
連携先企業（担当者）	伊坪ビジネス（株） 担当：濱島 武彦

利用者からの意見・評価
今までは挨拶をする声が小さかったので、これからはしっかりと大きな声を出したいと思う。 「報連相」を忘れずにしていきたいと思います。 指示を受けるとき基本として、指示が難しい時にはメモをとり、聞き逃したことはその場でもう一度聞くことがたいせつ。 「報連相」をすることでうまく仕事が出来るので重要だと思った。